

2008年11月28日

日本コンクリート工業株式会社
太平洋セメント株式会社

コンクリートポールの完全リサイクル技術を開発

日本コンクリート工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：網谷勝彦）と太平洋セメント（本社：東京都中央区、代表取締役社長：徳植桂治）は、コンクリートポールの完全リサイクルを可能とする新しい技術を共同開発しました。本技術を適用したコンクリートポールは、2009年初頭より「NCエコポール」として、NC中日本コンクリート工業株式会社（本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：宮田勝則）にて製造および販売を開始する予定です。

これまで役割を終えていたコンクリートポールは、破碎後に鋼材とコンクリート塊に分別し、鋼材はスクラップとして再利用、コンクリート塊は主に道路工事に使用する再生路盤材として大部分を使用していました。しかし、近年の公共工事の減少とともに再生路盤材としての需要が減少しており、新たなリサイクルが求められていました。

今回開発した技術は、セメントの主原料でもある石灰石を骨材として用いてコンクリートポールを製造するもので、役割を終えた後は破碎して全てセメントの原料としてリサイクルすることができます。こうして製造されたセメントは、再びコンクリートポールなどを製造する材料として使用するため、天然資源の消費を節約することにより、環境負荷を低減する効果が期待されます。

この技術によるコンクリートポールのライフサイクルCO₂排出量の削減効果を、NTT環境エネルギー研究所（神奈川県厚木市、所長：丸野透）が検証しており、その結果はエコデザイン2008ジャパンシンポジウム（2008年12月11日・12日、東京ビッグサイト）で発表されます。

また、基本となる概念「完全リサイクルコンクリート」は、友澤史紀 東京大学名誉教授・日本大学教授の発案によるものです。今回は、購入者が限定されるコンクリートポールにこの概念を適用し、銘板によって従来製品と区別してトレーサビリティを確保することで実現可能になりました。

なお、コンクリートポールの専門メーカーであるNC中日本コンクリート工業は、当面、主用顧客（NTT、JR各社、近畿日本鉄道等）の通信用ポール向けを中心にNCエコポールを販売する予定です。

< 本件に関するお問合せ先 >

日本コンクリート工業株式会社 社長室 TEL 03-5462-1022
太平洋セメント株式会社 IR広報部 TEL 03-6226-9018